

令和 7 年度第 1 回豊田市環境審議会 会議録

【日時】 令和 7 年 5 月 19 日（月） 10 : 00～12 : 00

【場所】 豊田市役所 南庁舎 5 階 南 51 会議室

【出席者】

（委員）

千頭 聡	（日本福祉大学 国際学部）	《会長》
渡部 教行	（豊田市自然愛護協会）	《副会長》
杉山 範子※	（東海学園大学 教育学部、 名古屋大学大学院 環境学研究科）	脱炭素社会 部会
赤坂 洋子	（NPO法人 とよたエコ人プロジェクト）	
宇井 妥江	（市民公募）	
遠藤 隆幸	（中部電力パワーグリッド株式会社 豊田支社）	
近藤 元博	（愛知工業大学 総合技術研究所）	
増田 理子	（名古屋工業大学 社会工学専攻）	自然共生社 会部会
大坪 瑞樹	（豊田市自然観察の森）	循環型社会 部会
谷口 功	（椙山女学園大学 情報社会学部）	
梅村 良	（とよたエコライフ倶楽部）	
杉浦 正春	（豊田市区長会）	
竹内 徹	（市民公募）	
長谷川 陽一	（あいち豊田農業協同組合）	

※WEB参加

（計 14 人）

（事務局）中川環境部長、近藤環境部副部長、松井環境部専門監、小木曽環境部専門監
塩谷環境政策課長、浅井環境保全課長、青木廃棄物対策課長、金原循環型社会
推進課長、長嶋清掃業務課長、宝木清掃施設課長（ほか）

【欠席者】 1 名

前田 洋枝 （南山大学 総合政策学部 総合政策学科）

【傍聴人】 0 名

【次第】

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議題

- (1) 第1回豊田市環境審議会 専門部会（脱炭素社会）の審議結果について（報告）
・・・【資料1】
- (2) 計画改定のスケジュールについて（報告）・・・【資料2】
- (3) 次期環境基本計画等について（協議）・・・【資料3】
- (4) パブリックコメントについて（報告）・・・【資料4】

- 4 その他
- 5 閉会

【議 事】

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議題

- (1) 第1回豊田市環境審議会 専門部会（脱炭素社会）の審議結果について【報告】

会長	議題（1）について、部会長から説明をお願いしたい。
委員	（資料1に沿って脱炭素社会部会の審議結果を説明。）
委員	山村部の話があったが、今年度策定予定の次期「豊田市山村地域の振興及び都市との共生に関する基本計画－おいでん・さんそんプラン－」と整合は図っているのか。
事務局	おいでん・さんそんプランとの調整には至っていない。今回の専門部会で自然を破壊してまでの再生可能エネルギーの導入は避けるべきといった意見も出ていたため、小水力発電のような自然を破壊しないような対応を今後検討する。
委員	近年、自然破壊をする太陽光発電の設置が問題になっているため、促進区域を設定することで、太陽光発電が設置されるエリアを誘導していく必要があると考えている。
委員	他自治体で住宅に太陽光発電を設置する際に、共同購入する方策を行っている例があるが、そのような予定はあるか。
事務局	2、3年前に太陽光パネルと蓄電池をセットにした共同購入事業を実施しており、何十件か導入された。太陽光と蓄電池、HEMSをセットとした補助金交付は引き続き行っている。

- (2) 計画改定のスケジュールについて【報告】、(3) 次期環境基本計画等について【協議】

会長	議題（2）、(3)について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	（資料2、資料3、参考資料3-1-1～3-2-2に沿って環境基本計画の改定について説明。）

委員	素案と概要版の関係はどうなっているか。素案を読めない人が概要版を読むと想像されるため、概要版は概要版として完結すべきである。「IPCC」といった専門用語や「再エネ」といった略称用語の使用は注意して欲しい。 計画策定の背景の「さらに懸命に戦う必要がある」の言い回しは公用文として適していない。 目指す方向を矢印だけで表示しているが、目標値を入れてほしい。他計画では同じ目標値を掲載しているが、環境基本計画には掲載していないことに違和感がある。
事務局	概要版の扱いは、素案のポイントを押さえたものとして捉えている。概要版のみでも市民の方が理解できるように引き続き検討したい。 計画策定の背景に記載している「さらに懸命に戦う必要がある」の表現は改める。 施策の評価を行うものは、効果などを指標として数値化することが適しているが、まちの状態指標はその他外的要因も含めているものになるので、矢印で表現している。数値化できるものがあるかどうかについては、検討が必要と感じた。
会長	パブリックコメントをかける際、素案をすべて読むことを依頼できないので概要版のみで伝えることになる想定をした資料になっているべきというご指摘である。
事務局	パブリックコメントまでの期間も短いため、現段階で補足できるものは修正し、パブリックコメント以降、さらにブラッシュアップしたい。
委員	今までの経緯を知らないのので、現状値がよいのか悪いのか、施策の柱がなぜ導き出されたかがよくわからない。目標として何%削減するとどうなるのか、削減すべき理由は何でメリットは何かといったことが資料だけではわからないため、説明があるとよい。
事務局	参考資料 3-1-1 P4 計画策定の背景を踏まえて現行計画の評価を行い、P18 に記載の通り施策の柱ごとに「現状と課題」、「施策の方向性」を整理している。概要版としての見せ方や表現は考える必要があると考えている。
会長	杉浦委員の意見は市民の視点を的確に表したものである。概要版では国内外の動向といった大枠の背景のみの記載にとどまっており、理解が得られないのではないかと。背景だけでよいのか、課題を明記した方がよいのか前向きに検討してほしい。
事務局	ポイント整理とあわせて市民が読んでも分かるよう工夫する。
委員	関係者だけで推敲した場合、前提を理解しているため初めて読んだ人にはわからない資料になることがよくある。第三者に意見を聞くことでより分かりやすい資料となるのではないかと。
会長	環境審議会が第三者から意見をもらうための機会になっていると考える。

副会長	読む人のわかりやすさという観点で、気候変動分野「基本方針 1 脱炭素社会を実現するまち」に「施策の柱⑤気候変動への適応」を含めてしまうのはやや違和感がある。基本方針 1 の標題に一工夫があるとわかりやすくなると思う。
事務局	脱炭素社会の実現に重きを置いて表現したい意図があるものの、違和感のない表現を検討したい。
委員	緩和の取組は効果が出るまでに時間がかかり、気候変動への影響は既に出ていることから、まずは適応に取り組むべきと考えている。基本方針の表現の工夫が必要かもしれないが、柱の分類としては適切だと考える。
会長	基本方針の名称について、基本方針 2、基本方針 3 は方向性を含んでいる一方で、基本方針 1、基本方針 4 は状態を表していることも、分かりにくさの原因になっている。基本方針 1 の表現は例えば「適応と緩和も通じて脱炭素社会を実現するまち」などとしてはどうか。脱炭素社会部会で再度意見を諮ってもよい。
副会長	分野の表現を「気候変動」から「気候変動対応」としてはどうか。また、基本方針の表現を「気候変動の適応の中で脱炭素社会を実現するまち」と表現してはどうか。
委員	3-1-2 の取組分野の連関イメージ図の土台の「人と自然」が白黒印刷だと目立たない。
委員	「人と自然」のフォントが小さい。
委員	施策の体系は大幅に修正する必要がないと考えるが、計画策定の背景など細かいところで豊田市らしさが伝わってこないのではないかと。基本理念やめざす環境像のイラストを見れば豊田市を想像できるが、細かい文言を付け加えるまたは、前提として豊田市に関する記載を追加するなど工夫してはどうか。
会長	必要に応じて部会の先生に相談しパブリックコメントに臨むこと。
委員	気候変動適応計画について、本編と概要版の KPI 指標の基準年度が 2023 年度と 2024 年度とで異なっている。
事務局	2023 年度が適切である。
委員	なぜ最新年度の 2024 年度としないのか。
事務局	今後部会で了承を得てから掲載したいと考えている。
委員	事前配布資料を印刷した際にテキストの一部箇所が不自然になった。
事務局	レイアウトのずれによるものであり、当日配布資料は修正済みである。
委員	一般廃棄物処理基本計画を印刷したときにカラートーンが地味である。クリアな色の方が明るいイメージを与えられてよい。
事務局	穏やかな色を選択した。内容がわかりやすくなることを重視した色使いをした。

(4) パブリックコメントについて【報告】

会長	議題 (4) について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	(資料 4 に沿ってパブリックコメントについて説明。)

会長	意見の提出方法は何か。
事務局	メール、FAX、電子申請システムで提出可能とする。
委員	他計画等におけるパブリックコメントではどの程度意見が集まってくるのか。 アンケート等はEモニター制度があるかと思うが。 資料の閲覧場所は。
事務局	総合計画では 284 件意見が出た。うち E モニターからの意見は 183 件であったため、資料の閲覧場所は現状のままとし、E モニターを活用して媒体を増やすことを検討したい。
委員	ワークショップの参加者に対してはパブリックコメントの案内をするとよい。
会長	概要版はスマートフォンでも閲覧できるとなおよいと考える。
会長	委員からもパブリックコメントへの協力の依頼をお願いしたい。他市の総合計画策定時のパブリックコメントでは、委員である教師から生徒へ情報共有があり、中学生から多くの意見を得られた事例があった。周りの人にも周知してほしい。

4 その他

会長	配布されたチラシ等について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	(配布チラシについて説明)

以上